

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro秦野		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容としてさまざまなイベントを企画している。	利用児童にやってみたいことや行ってみたいところを聞き、それをできる限り実現できるよう、イベントカレンダーに反映させている。	子どもたちの「やってみたい」や「行ってみたい」の気持ちを引き出せるよう、引き続き新規イベントを企画していく。
2	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成され、その計画に沿った支援ができています。	面談時、モニタリング結果からの評価をお伝えしつつ、保護者様の希望を反映させた個別支援計画を作成している。社員は利用児童の個別支援計画の具体的な達成目標を頭に入れてながら支援にあたっている。	今後は社員だけでなくパートも、その日に担当する児童の具体的な目標を事前に確認し、支援にあたるようにする。
3	契約時の運営規程、支援プログラム、利用者負担等や、個別支援計画の説明を丁寧に行なっている。	料金についての認識の違いは信頼関係が崩れる原因になるので、保護者との齟齬がないよう、時間をかけて説明している。個別支援計画作成時、支援内容をできるだけ具体的に記載し、説明時にも後日読んでも分かりやすいようにしている。	今後も契約書や個別支援計画の読み合わせを行った上で、区切りごとに分からないことがないか都度確認し、丁寧な説明に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	当事業所の取り組みを職員全員が把握できていない。	パート職員が多いため。	本評価表をもとに、未回答項目や取り組んでいるが「いいえ」と回答している項目について、取り組み内容を全職員に周知する。 放デイガイドラインを確認していただく。
2	保護者やきょうだい児同士が交流できるイベントの回数が少ない。	イベント立案時、toiroへ保護者やきょうだい児の招待を前提として作成していないため。	保護者やきょうだい児同士が交流できるイベントの開催頻度を上げ、開催時には全ご家庭に周知できるよう、紙面での配布とHUGの活動記録を利用してお知らせをしていく。 紙面を渡す際も丁寧に説明し、参加を積極的に促していく。
3	地域の児童との交流をしていること分かりづらい。また、回数も少ない。	イベントカレンダーや連絡帳に記載しなかったり、送迎時にお伝えせず、イベントの合間に児童館や公園に行っているため、保護者様が地域の児童と交流していることに気付かない。	児童館や公園など、地域の児童が集まるような場所へ行く際は、連絡帳に記載する。 送迎時にも、イベント以外で行った場所はお伝えする。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		toiro秦野		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	6		狭く感じさせてしまう原因になっている長テーブルを1つ片付け、活動の場を広げるようにした方が良い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	1日のスケジュールや本日のイベントを絵カードを教室に掲示し、児童が見通しがつけられるようにしている。	汚物を洗える洗面台があったら安心。教室と廊下との間の段差が気になる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2		不要なイスは捨てることを検討。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	不穏時、相談室へ誘導するようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2		パート職員はあまり参画しているように思えない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2		立案を募集する環境は整えているが、立案しない職員が多く、イベントカレンダー作成担当にほぼ一任されている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	運営後、時間がなくても、LINEワークスのツールを使用して今日の振り返りや共有を必ず行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	1		学校によっては下校時間の確認をすると個人情報のため事業所でも教えられないと言われることがある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	イベント外の活動で、児童館や公園へ行き、地域の他の子どもたちと交流できるようにしている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	基幹相談支援センター等が主催する講習会や研修には、管理者や児発管が積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	3	"toiro参観"という形で保護者が児童の活動の様子を見たり、保護者同士、またはきょうだい同士で交流可能な期間を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		起きた際は書面とLINEワークスのグループ内のノートの両方で共有し、全職員が再発防止に気をつけられるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				